

|           |       |                |           |       |
|-----------|-------|----------------|-----------|-------|
| 呉工業高等専門学校 | 開講年度  | 平成29年度(2017年度) | 授業科目      | 保健・体育 |
| 科目基礎情報    |       |                |           |       |
| 科目番号      | 0035  | 科目区分           | 一般 / 選択必修 |       |
| 授業形態      | 講義    | 単位の種別と単位数      | 履修単位: 1   |       |
| 開設学科      | 建築学科  | 対象学年           | 5         |       |
| 開設期       | 前期    | 週時間数           | 2         |       |
| 教科書/教材    | なし    |                |           |       |
| 担当教員      | 佐賀野 健 |                |           |       |

### 到達目標

- 自分の体力レベルを把握できる。
- ゴルフを行なうまでのエチケットやマナーを理解できる。
- ピッティングの基本的な打ち方ができる。
- 方向・距離感覚を修得し、ある程度狙ったところに打つことができる。
- バドミントンの基礎技能をゲームで生かすことができる。
- バドミントン(ダブルス)の集団的技能をゲームで生かすことができる
- バドミントンのゲームを企画・運営ができる。

### ルーブリック

|       | 理想的な到達レベルの目安            | 標準的な到達レベルの目安            | 未到達レベルの目安                |
|-------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 評価項目1 | 自分の体力レベルを適切に把握できる       | 自分の体力レベルを把握できる          | 自分の体力レベルを把握できない          |
| 評価項目2 | ゴルフの技能を生かすことができて        | ゴルフの技能を生かすことができる        | ゴルフの技能を生かすことができない        |
| 評価項目3 | バドミントンの技能をゲームで生かすことができて | バドミントンの技能をゲームで生かすことができる | バドミントンの技能をゲームで生かすことができない |

### 学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)

### 教育方法等

|           |  |
|-----------|--|
| 概要        | 新体力テストの測定を実施し、自分の体力や運動能力を測定し、その結果、不足している能力を確かめ、運動能力を高める自己診断資料とする。生涯にわたってスポーツを親しむという観点からゴルフ、バドミントンを学習する。基本的な個人技能を高めるとともに、効果的な練習方法、エチケットマナー、ゲームの企画や運営方法、審判法などを理解させる。 |
| 授業の進め方・方法 | 基礎技術の練習を行って、ゲームの戦術を学習する。   |
| 注意点       | 学校指定の体操服及び体育館シユーズを着用すること。体力づくり・練習方法等、クラブ活動に活用するとよい。授業だけでは運動不足なので、クラブ活動や自主的トレーニングを行うとよい。  |

### 授業計画

|      | 週   | 授業内容            | 週ごとの到達目標   |
|------|-----|-----------------|--|
| 後期   | 1週  | 球技大会の種目         | 4. 球技大会種目の練習   |
|      | 2週  | 球技大会の種目         |  |
|      | 3週  | バスケットボール        | 5バスケットボール<br>バスケットボールの技術・ルール理解と審判法の説明<br>個人技能の修得<br>集団技能の修得<br>ゲーム |
|      | 4週  | バスケットボール        |  |
|      | 5週  | バスケットボール        |  |
|      | 6週  | バスケットボール        |  |
|      | 7週  | バスケットボール        |  |
|      | 8週  | バスケットボール        |  |
| 4thQ | 9週  | バスケットボール        |  |
|      | 10週 | バスケットボール        |  |
|      | 11週 | バスケットボール        |  |
|      | 12週 | バスケットボール        |  |
|      | 13週 | バスケットボール        |  |
|      | 14週 | バスケットボール・スキルテスト |  |
|      | 15週 | バスケットボール・スキルテスト | 6. 持久走<br>長距離走の練習  |
|      | 16週 | バスケットボール・スキルテスト |  |

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類      | 分野          | 学習内容   | 学習内容の到達目標  | 到達レベル | 授業週         |
|---------|-------------|--------|--|-------|-------------|
| 分野横断的能力 | 態度・志向性(人間力) | 態度・志向性 | 身内の中で、周囲の状況を改善すべく、自身の能力を発揮できる。   | 2     | 前4,前9,後1,後3 |
|         |             |        | 集団の中で、自身の能力を発揮して、組織の勢いを向上できる。  | 2     | 前4,前9,後1,後3 |
|         |             |        | チームワークの必要性・ルール・マナーを理解し、自分の感情の抑制、コントロールをし、他者の意見を尊重し、適切なコミュニケーションを持つとともに、当事者意識を持ち協調して共同作業・研究をすすめることができる。 | 2     | 前4,前9,後1,後3 |
|         |             |        | 組織やチームの目標や役割を理解し、他者の意見を尊重しながら、適切なコミュニケーションを持つとともに、成果をあげるために役割を超えた行動をとるなど、柔軟性を持った行動をとることができる。           | 2     | 前4,前9,後1,後3 |

|  |  |  |   |   |             |
|--|--|--|---|---|-------------|
|  |  |  | 先にたって行動の模範を示すことができる。口頭などで説明し、他者に対し適切な協調行動を促し、共同作業・研究をすすめことができる。<br>目標すべき方向性を示し、先に立って行動の模範を示すことで他者に適切な協調行動を促し、共同作業・研究において、系統的に成果を生み出すことができる。リーダーシップを発揮するために、常に情報収集や相談を怠らず自身の判断力をも磨くことができる。 | 2 | 前4,前9,後1,後3 |
|  |  |  |   | 2 | 前4,前9,後1,後3 |

#### 評価割合

|         | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計  |
|---------|----|----|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合  | 0  | 0  | 0    | 60 | 40      | 0   | 100 |
| 基礎的能力   | 0  | 0  | 0    | 60 | 40      | 0   | 100 |
| 専門的能力   | 0  | 0  | 0    | 0  | 0       | 0   | 0   |
| 分野横断的能力 | 0  | 0  | 0    | 0  | 0       | 0   | 0   |